

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 6 年 4 月 16 日

アンケート期間: 令和 6 年 2 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 10 日

事業所名 のんたん

保護者等数(児童数) 53

回収 43人

割合 87%

	チェック項目	評価					ご意見
		はい	どちらとも いえない	いい え	わからない	無回答	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	36	2	0	4	1	年齢によって活動スペースを区別してくれている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	32	1	0	10	0	言語や学習への支援をして頂ける。 先生が沢山おられて、情報共有もして頂いているので安心している ・見る機会がない為わからない ・職員は多く配置できている
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	33	1	0	9	0	・サインを使って分かりやすくなっている ・見る機会がない為わからない ・子供達の特性に合った配置が出来ているように思う。 ・色々工夫されている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	39	0	0	3	1	・見る機会がない為わからない ・子供達の活動の部屋は工夫され常に掃除が行き届いている
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	40	0	0	3	0	丁寧に聞き取ってもらっています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	34	0	0	9	0	支援内容はしっかりできているように思う。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	37	2	1	3	0	出来ている。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	34	2	2	5	0	月や曜日、長期休み、季節に合わせた支援がある。 同じ活動が多いように思います。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	3	3	23	1	あまりないように思います。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	41	1	0	1	0	説明してもらっている。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	38	1	1	3	0	説明してもらっている。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	21	8	1	13	0	コロナ禍や自己都合の欠席で参加できていなかったかもしれない。 参加したことがないだけかもしれません。 興味はあるが子どものみ通っているため機会がない。(自主学習用に本はある)

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	31	7	0	5	0	<p>活動内容だけでなく、子どもの様子をもう少し知る事が出来たら有難いです。</p> <p>施設での子どもの様子が具体的に分からないなkと感じます。</p> <p>お忙しい中で連絡帳を書かれていているとは思いますが、もう少しのんたんでの子ども様子が分かるといいなと思います。</p>
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	4	2	6	0	<p>半年に一回の面談では少なく感じる。</p> <p>「今日は〇〇をしました」だけだと、お友達との様子などどうだったのかなと思います。</p> <p>親でも気付いていない点を指摘してもらったことがある。</p> <p>送迎時に時間が許す限りお話してくれる。</p>
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	9	6	1	16	<p>来月の保護者会がはじめてです。</p> <p>次回参加してみたい。</p>
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	32	5	0	6	0	<p>臨機応変に対応してもらっていて助かっている。</p>
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	4	0	7	0	<p>悩みが多いときなど連絡帳のスペースが足りず困る。</p>
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	35	3	0	5	0	<p>毎月通信で様子が見える。</p>
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	40	1	0	2	0	<p>きっちりされています。</p>
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	39	2	0	2	0	<p>定期的に実施され、子どもも動き方を理解している。</p>
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	3	0	16	0	<p>して下さっていると思うが、あまり気付いていない</p>
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	43	0	0	0	0	<p>のんたんでの様子を写真で見た時tおりくんている。笑顔で参加しているようだったので安心しました。</p> <p>楽しく行き、内容もおおむね意欲的に取り組んでいる。</p> <p>楽しく通っています。ありがとうございます。</p>
	23	事業所の支援に満足しているか	41	1	0	1	0	<p>送迎して頂けるのはとても有難いです。もう少し施設での様子や反応を教えて頂く機会や子どもの特性に応じた声かけの対応を考えさせて頂く機会があればいいなと思います。</p>

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 3 月 10 日

公表:令和 6 年 4 月 16 日

事業所名 のんたん

		チェック項目	はい	いいえ	回答なし	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3	1	活動やメンバーによる。変更キャンセルをかけることが多い。一人一人が過ごしやすいスペースは確保できている。
	2	職員の配置数は適切である	4	5	1	マンツーマンの子どもの多い時、スタッフが足りない時がある。午前支援の手が足りないように思うことがある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	0	0	部屋を2分割にして子供たちの特性に応じて対応できるようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	0	部屋を2分割にして子供たちの特性に応じて対応できるようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	1	特に利用者の支援に関してPDCAサイクル(のんたんではTOCの考え方を取り入れ、やったこと・分かったこと・次にする事・それをやる事によるメリット)を毎月子供の様子を観察し訓練会として月一回職員と話し合いをし支援に活かしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	2	改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	2	公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0	2	今のところ出来ていない。今後の課題として考えていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	0	今年度は内部研修1回、外部研修4回(廣瀬先生による感覚統合の研修2回、田中先生による支援者としてのスキル・親御さん向けの研修)を実施。訓練会は講師により2か月に一回実施。次年度は2か月一回の訓練会・内部研修年3回・外部研修3回の予定をしている。
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	0	している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	0	のんたん独自のアセスメント準備シートを作成しそれを使ってしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	0	のんたん独自のアセスメント準備シートを作成しそれを使ってしている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	0	児童発達支援計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	0	活動担当を決めて、担当の職員が立案し、行っている。

援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1	0	職員同士で話し合いをして年間の活動プログラムを検討決めている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	0	0	職員同士で話し合いをして決めている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	0	毎日打ち合わせと振り返りをしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	0	毎日打ち合わせと振り返りをしきずいたところは職員同士共有し次の支援に活かしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	年間計画を立て月案・日案を立て内容をその都度検討している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0	年2回のモニタリングを通して計画の見直しをしている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	1	担当者・管理者が行くようにしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	6	0	担当者・管理者が行くようにしている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	0	4	医療的ケアが必要な子どもの支援はしていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	0	5	医療的ケアが必要な子どもの支援はしていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	2	必要に応じて担当者会議等を行い情報を共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	3	必要に応じて担当者会議等を行い情報を共有している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	1	発達検査等
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	6	0	特になし
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	0	2	担当者が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	1	モニタリングや連絡帳及び電話等で行っている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	2	2	理事長が一手に引き受けている時がある。職員が行えるように職員研修を充実させていく。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	3	説明を行っている。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	1	・契約内容を説明し同意をもらっている。	
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	1	出来る限り行っている。	

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1	1	今年は一回保護者会を行った。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	1	その都度対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	2	のんたん通信にて発信している。(紙の配布・HP・メール)
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	1	「個人情報」という理解、今は大変厳しくなっているので職員には徹底している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	1	出来る限り配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	3	ハッピースマイル等地域の日知たちを巻き込んだイベントがコロナ等できなかった。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	1	緊急時対応マニュアルはあるが、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは作っていないので、策定し、職員・保護者に周知し訓練を実施する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	1	年3回地震と火災の避難訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	2	1	面談の時に聞き、出来る限り配慮対応している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	3	面談の時に食物アレルギーがあるかのアンケート調査を行い、それに基づいて対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	3	日誌にて共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	3	職員用の支援ガイドに基づいて研修して共有している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	3	身体拘束についてはいかなる理由があってもしないと重要事項説明書に明記している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 4 月 16 日 アンケート期間:令和6年 2月 1日～令和6年3月10日

事業所名 のんたん 保護者等数(児童数) 109 回収数 82 割合 73.2 %

	チェック項目	評価				ご意見
		はい	どちらとも いえない	いい え	わからない	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	77	5	0	0	建物が広いので子どもも喜んでいます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	76	6	0	0	子どもの特性に応じた支援や言葉かけをしていただけていると思います。 子どもに応じた支援をしていただけていると強く感じます。 職員の配置を把握していない。 送迎の方が専門的でとても安心感がある。(子どもに対しても丁寧)
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	65	14	0	3	階段等は手すりがついている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	81	1	0	0	子どもの様子を丁寧にみて、詳しく計画して頂いています。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	74	8	0	0	いろいろな経験をさせていただいて有難いです。 色んな経験ができるように活動を組み立てていただけていると思います。 毎日季節の行事や遊びを取り入れながら工夫されています。特に夏休みに充実していました。 外での行事が多くて子どもも楽しそうです。 色んな企画があり、子どもは喜んで参加している。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	21	46	13	2	参加したことがないです。 障害のない子どもとは学校ですでに交流があるので、必要ないと思う。 感染症予防の為に、交流は難しいと思います。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧に説明がなされたか	78	3	1	0	一応説明してもらっている。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	80	2	0	0	子どもの成長についても一緒に考えて頂いています。 連絡帳で活動の様子を詳しく書いて頂いています。 お友達とのトラブルが起きた時も些細な事も連絡頂き助かります。

保護者への説明等	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	78	4	0	0	悩みなども面談時に聞いて頂いたりとは有難いです。面接時には、いろいろとアドバイスを頂き大変勉強になっています。いつも助言いただいております。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	53	24	5	0	コロナ禍で難しかったと思うので、これから増えるといいですね。 あまり自分が参加していない。 はっぴースマイルデーなど少なくなったので知らないお母さん方が増えた印象がある。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	67	13	0	2	苦情があるという事案を聞いていないので、対処されているのか不明の為どちらとも言えないにしています。 苦情について特に聞いたことがない。 苦情を言ったことがない。 苦情を言った事がないので分からない。 そういった状況になる事がなかったため分からない
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	76	6	0	0	いろいろと聞きやすいようにお声掛け頂いています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	76	5	0	1	子どもたちの楽しそうな様子が見れて嬉しく思います。 子どもたちの活動の様子が見れるのをいつも楽しみにしています。 曜日毎に活動が変わっているが、通所が同じ曜日になることが多く結局同じ活動になっています。
	14	個人情報に十分注意しているか	78	3	1	0	注意しておられると思う。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	62	20	0	0	緊急時対応と防犯については不明です。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	62	20	0	0	週1回の利用なので、分かりません。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	77	5	0	0	<p>友だちと遊べるのが嬉しいようでいつも楽しみにしています。</p> <p>いつも楽しく通わせていただけているように感じます。</p> <p>小学校を休んでも「行きたい」と言ってくれる。</p> <p>学年が上がリ、お友達と遊ぶ事を優先したい時もありますが、行った時は楽しかったことを嬉しそうに帰ってきます。長期休みのイベント活動は毎回とても楽しみにしています。</p> <p>外出プログラムは、どこに行くのだろうか？何をやるのだろうか？と楽しみなようです。</p> <p>学校は楽しくないと行っていますが、のんたんは楽しいと言っています。</p> <p>いつも楽しく行っています。</p>
	18	事業所の支援に満足しているか	80	2	0	0	<p>家庭ではなかなか経験できないこともたくさんさせて頂けて親子共々有難く感じています。</p> <p>学校にいけない日は、早めの利用に対応して下さい、助かっています。</p> <p>子ども達と外に遊びに連れて行ってくれるなど、家では行けない所も連れて行ってくれ、楽しく通っている。</p> <p>ポケットは子どもの意見を尊重して頂いているのですが、できれば習慣化して笑って学習できるよう「〇〇分は学校の宿題は必ずする」など具体的な学習をしてきてほしい。</p>

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日令和 6年 3月 10日

公表:令和 6年 4月 16日

事業所名 特定非営利活動法人ザ・ホープフル のんたん

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	4	0	部屋を分けている為。多くても適切。
	2	職員の配置数は適切である	5	5	1	部屋を分けているので適切な時もそうでないときもある。人数的には多いように思う。利用者によっては職員の人数がもう少しあっても良いと思う時もある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	5	1	トイレ段差あり。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	3	0	振り返りはメインがまとめてしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	3	1	年に一度自己評価アンケートをしているが、職員は把握していない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	3	ホームページに載せている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	4	0	第三者による外部評価が行えていないので、外部評価を行い業務の改善につなげていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2	0	今年度は内部研修1回、外部研修4回《廣瀬先生による感覚統合の研修2回、田中先生による支援者としてのスキル・親御さん向けの研修》を実施。訓練会は講師により2か月に一回実施。次年度は2か月一回の訓練会・内部研修年3回・外部研修3回の予定をしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	0	作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3	0	標準化されたアセスメントツールかわからないが、訓練会でベストプラクティス(事例集)を作っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1	0	年間計画を立て月案・日案を立て内容をその都度検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	1	0	年間計画を立て月案・日案を立て内容をその都度検討している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	2	0	長期休暇に関しては普段なかなか子供たちが経験出来ないプログラムを計画し実践している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	1	0	作成できている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	3	0	全員そろっての打ち合わせは難しいので、日案・活動案を通して共有している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	2	0	その場にいる職員・担当・メイン職員で振り返りをし。理事長に報告している。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	2	0	出来ているように思う。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	1	記録の書き方、中には職員の思い・意見が入ってしまっていることがある。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	3	0	一応している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	2	0	担当者が行くようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	1	0	担当者が行っているが、連絡がうまく取れなかったり、お互いの変更連絡が出来ていなかったりする時があるので窓口を一本化していくことでトラブル等の改善を行っていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2	2	連絡先は貼ってあるが、主治医と直接連絡したことはないと思う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	3	0	・放課後デイへの引継ぎの会議を設けている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	2	1	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の個別支援計画を渡している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	6	0	・研修がある時は出来る限り受けるようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	5	コロナ等があったので今のところは自粛している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	4	2	担当の職員が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	2	0	連絡帳を通して行っている。特に伝えたい事や大事なことは、直接親御さんに電話をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	6	1	特に事業所内ではしていない。今後必要に応じて出来る様にしていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	1	理事長が契約時にして下さっている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1	0	一応その都度行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1	2	今年是一回保護者向けの研修と懇談会を行った。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0	のんたん通信にて発信している。(紙の配布・HP・メール)
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1	0	のんたん通信にて発信している。(紙の配布・HP・メール)
	35	個人情報に十分注意している	9	0	1	「個人情報」という理解、今は大変厳しくなっているので、気を付けて徹底している。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	2	0	出来る限り配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	4	コロナ等があったので今のところは自粛している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	4	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは策定し、職員・保護者に周知し訓練を実施している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1	1	年3回地震と火災の避難訓練・防災訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2	0	のんたん独自の支援者ガイドブックを使って虐待防止の職員研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	5	0	保護者への説明書きは、契約時のみで、長年利用されている方は忘れてしまう事もあるので機会を見つけて再度説明する必要がある。基本的に事業所ではいかなる場合も身体拘束は禁止している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	1	アンケートを通してアレルギーについては聞きファイリングして整理している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	4	1	連絡日誌で共有しているが、全員が見ているのかわからないときがあるので、再度必ず目を通して共有するように徹底していく。